

学びの質向上を目指すICT活用の取組み

『ICTを用いたTeam-Based Learningの実施方法』

東京女子医科大学

茂泉（吉名）佐和子



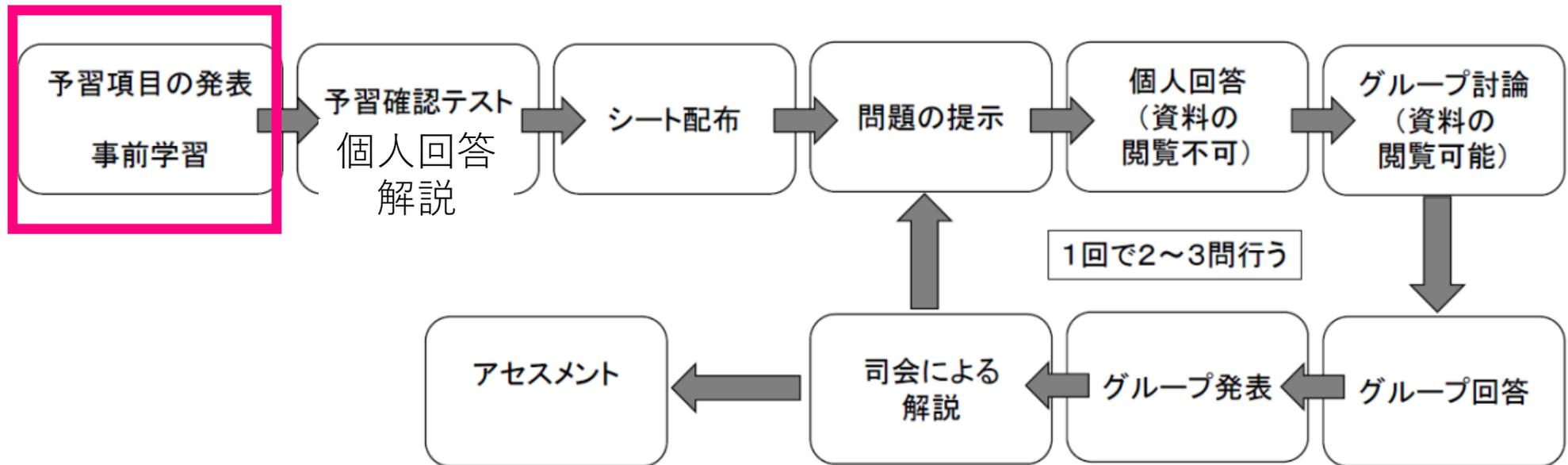
# TBL(Team Based Learning)とは

TBLとは、知識を応用する能動的な学習を重視し、グループで協働して互いに教え合う能力を鍛える少人数のチーム学習法。

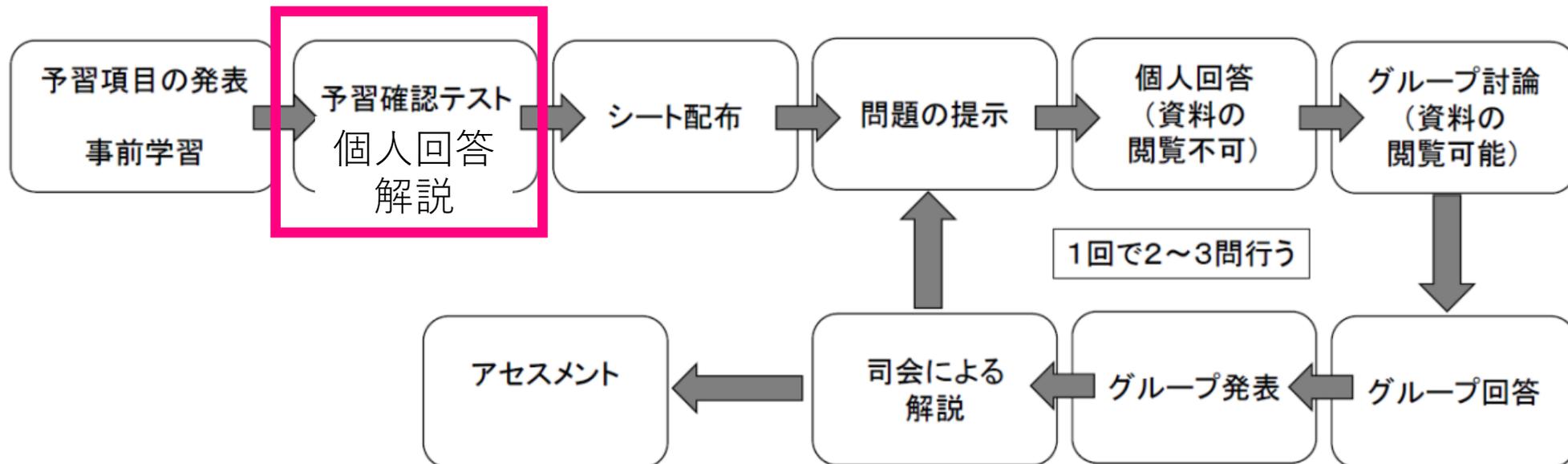


## TBLの流れ

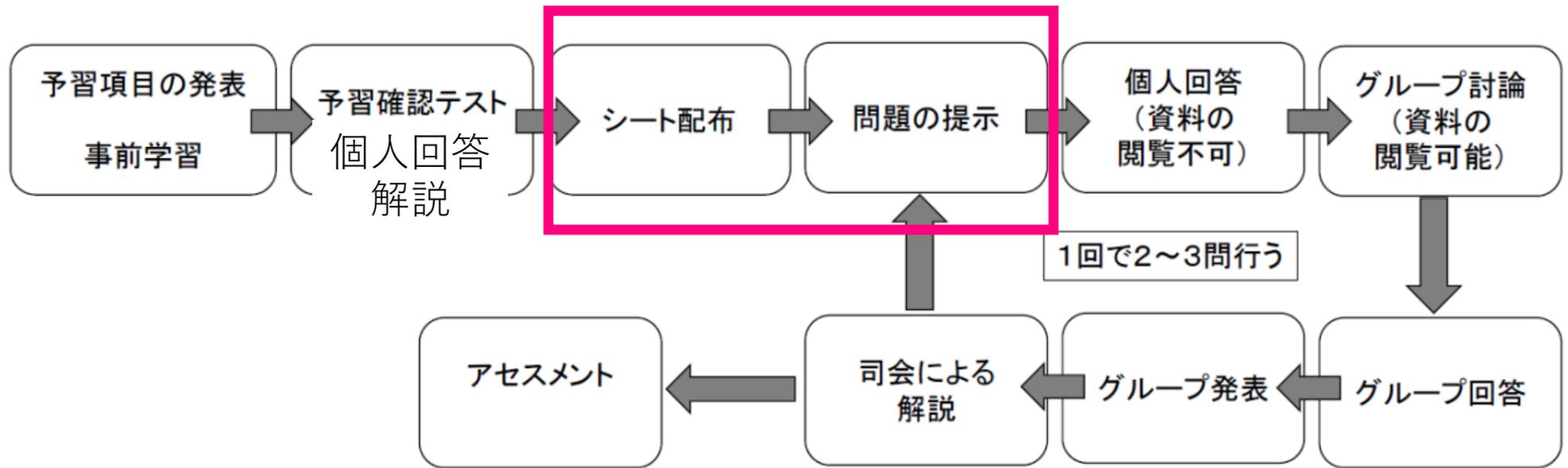
「予習」「予習確認」「学習内容の応用」の3段階で進めます。



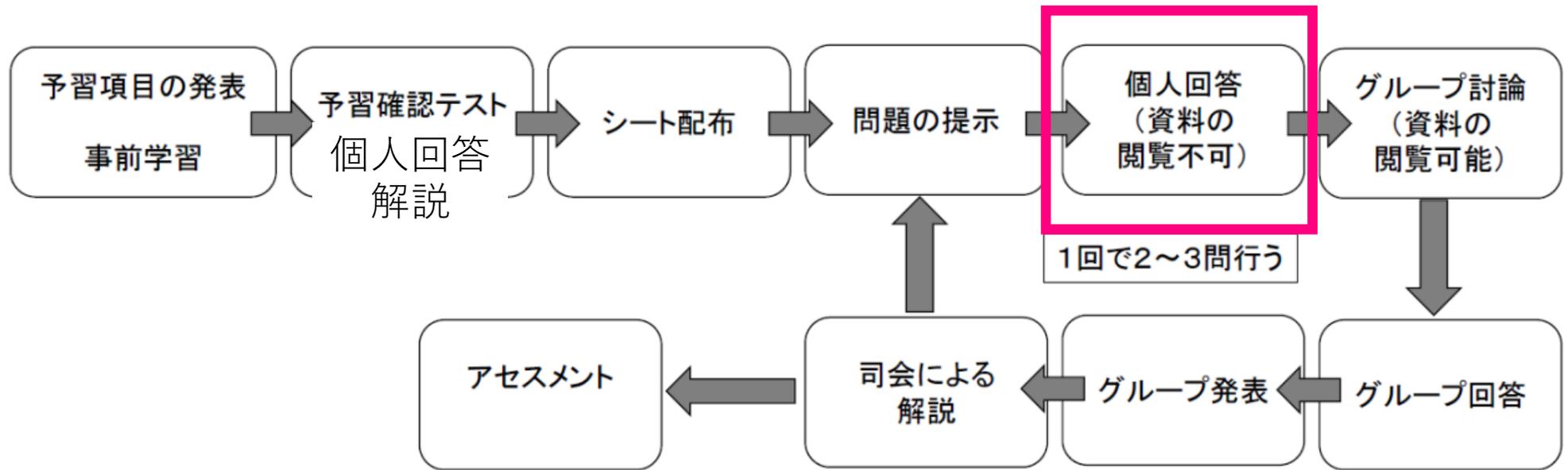
出典：TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習



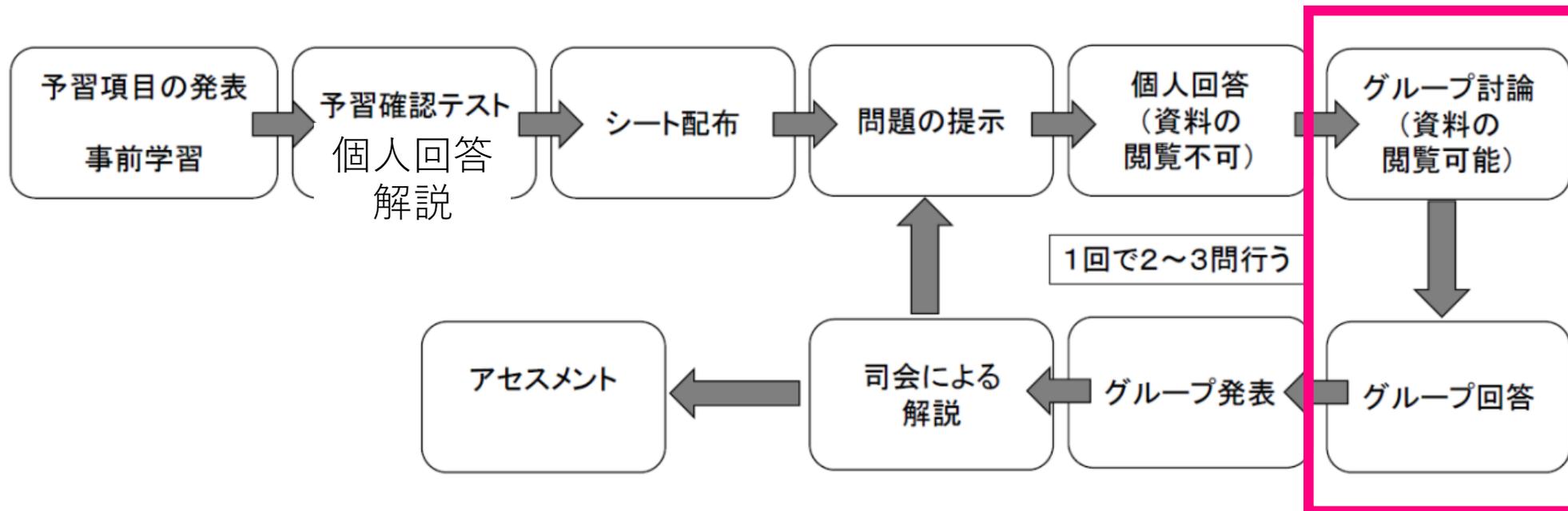
出典：TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習



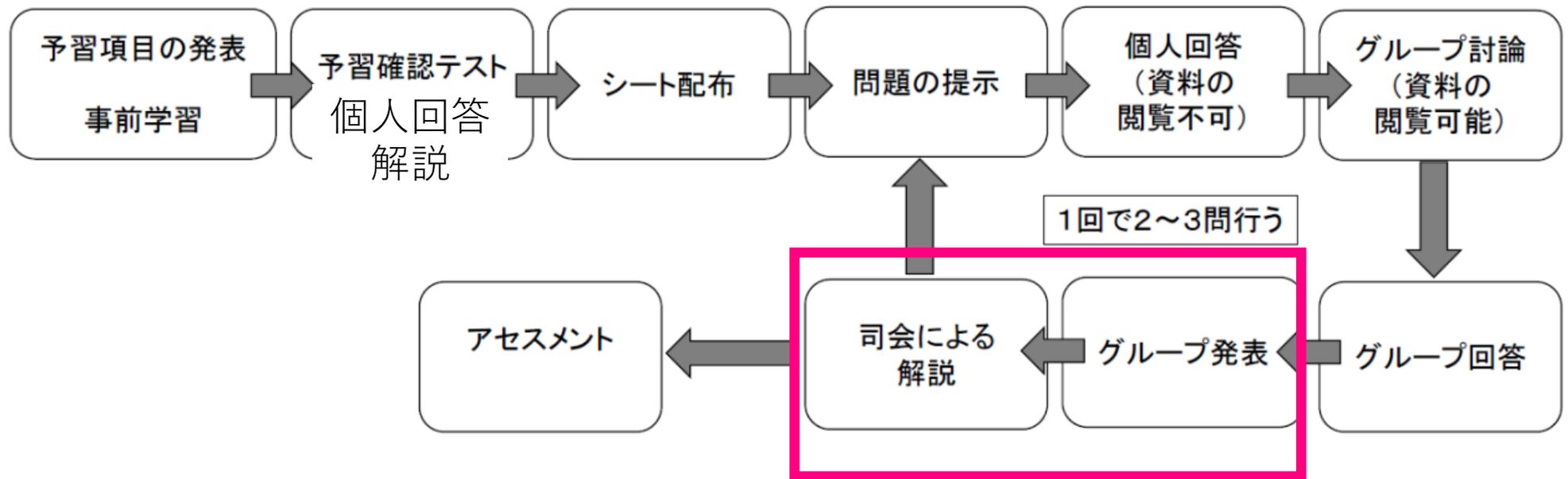
出典：TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習



出典：TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習



出典：TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習



出典：TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習

# TBLを実施するにあたり、問題になりそうな点

- 1 学年全員を集め、グループに分けて  
討論できる広さの部屋が確保できない。  
(100人を6名程度のグループに分けると、16班ぐらいになる)
- 解答を即座に回収し、教員がその場で解答を  
確認・集計できるシステムがない。
- 5班程度ずつ1部屋に割り振り、  
TBLを実施したとしても、解説を行う教員を  
複数人確保できない。

etc...



解決すべき点はあるけれど、

- 講義で学修した知識を使うこと
- 他者が理解できるように説明すること
- 他者の意見を聞いて考えること

を練習して欲しい。



インターネットを活用したTBLを！

完全オンラインでも対面と同様のTBLを！！



完全オンラインでも対面と同様のTBLを！



だけど・・・

- ICTに強い人（学生も教員も）ばかりではない
- 学生のネット環境は全員同じではない
- 高スペックのPCが揃っているわけではない

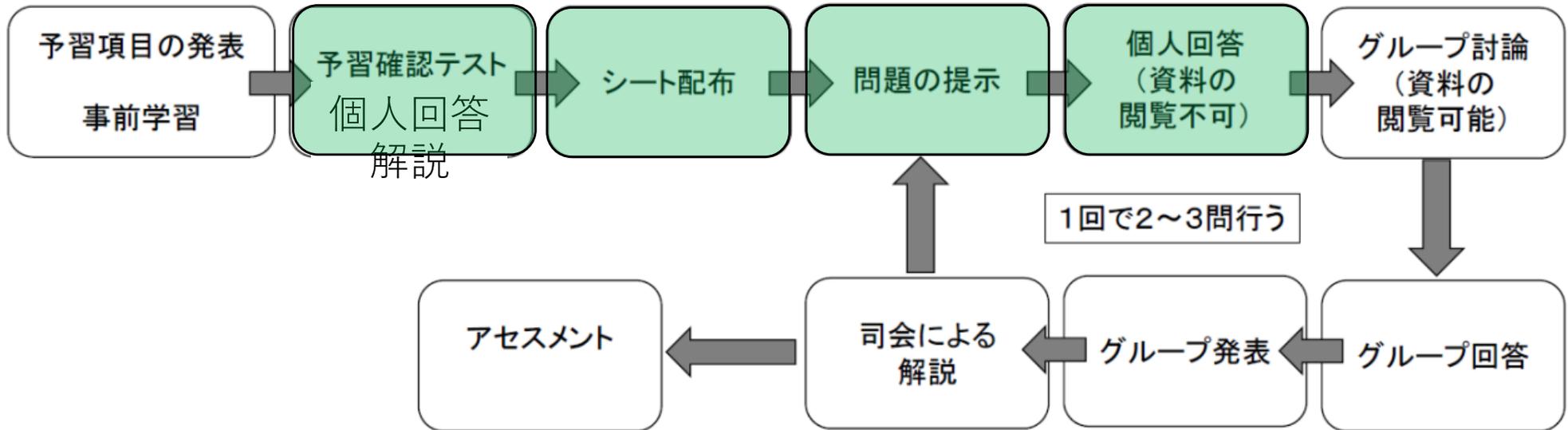


できるだけハードルを低くし、  
現行の環境でも  
取り入れやすくしたい。





# 完全オンラインTBLの流れ



 : 全員zoomのメインルームに集合

司会の教員は、

LMSにて課題シートと問題・回答欄を表示。

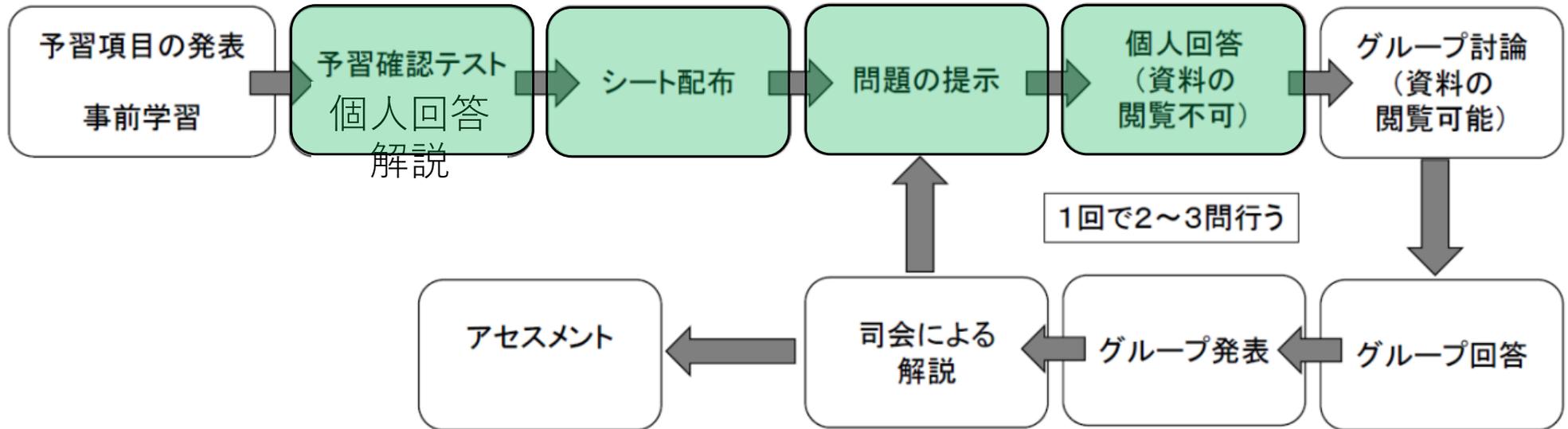
回答時間終了後、問題を非表示にする。

解説は、zoomの画面共有にて行う。



『TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習』  
を一部改変

# 完全オンラインTBLの流れ



：全員zoomのメインルームに集合

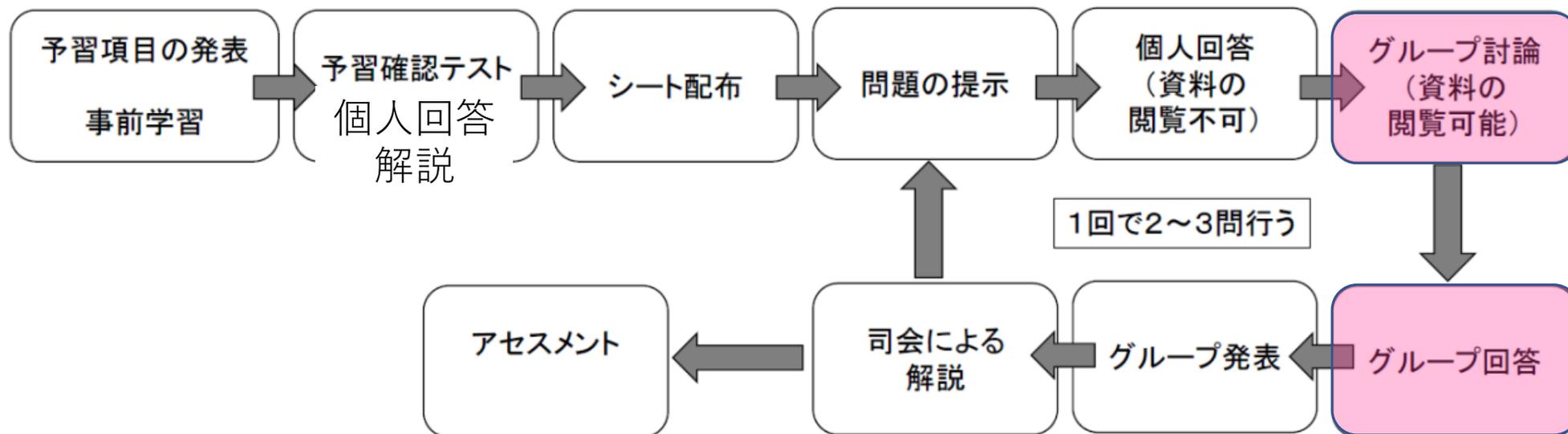
学生は、

LMSにて課題シート・問題を読む。回答を入力。  
常時カメラをONにする。



『TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習』  
を一部改変

# 完全オンラインTBLの流れ

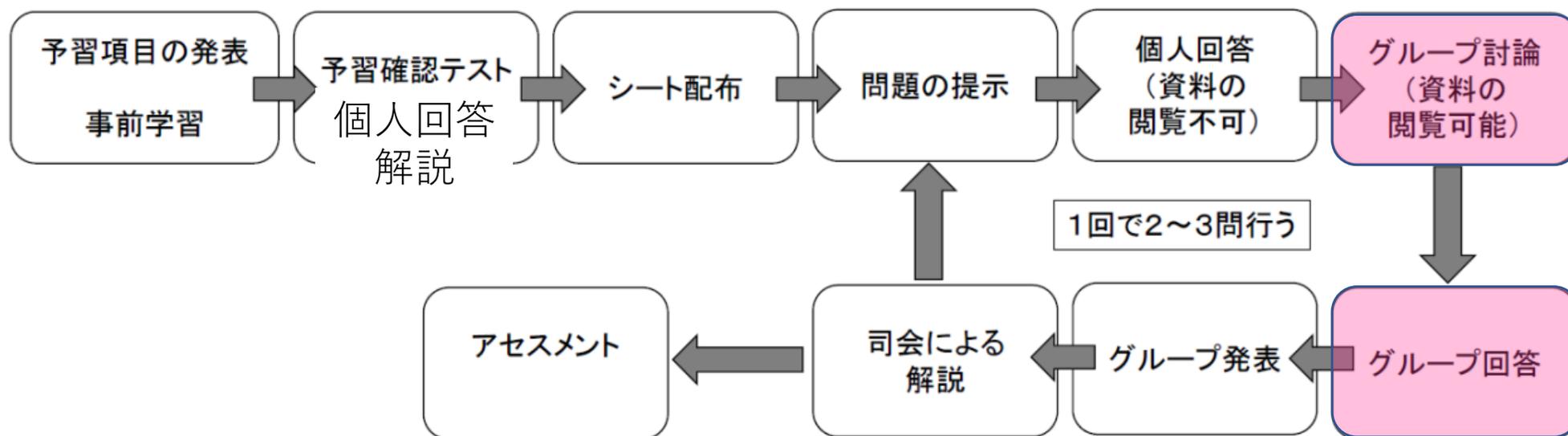


： 司会の教員は、

zoomのブレイクアウト機能を用い、  
班ごとに**ブレイクアウトルームに分ける。**  
ファシリテーターも一緒にブレイクアウトルームに分ける。  
(google Meetでも可)

LMSにてグループ用問題・回答欄を表示。  
回答時間終了後、問題を非表示にする。

# 完全オンラインTBLの流れ

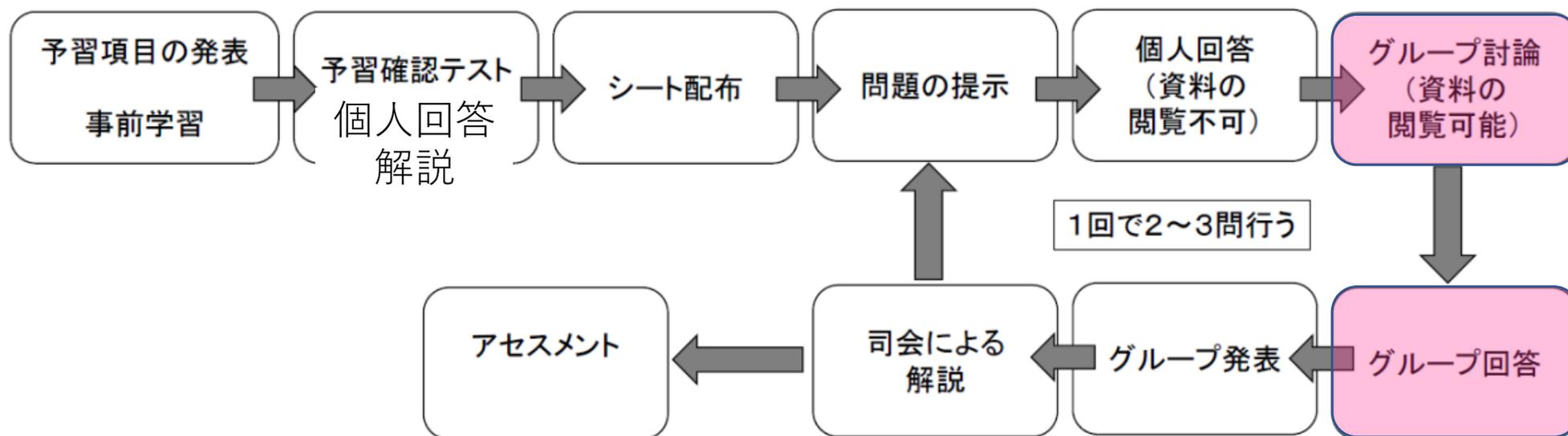


**学生**は（@ブレイクアウトルーム、常時カメラをON）  
班ごとに話し合い、答えに至った経路や根拠、  
問題に関連して討論した事項を、Google スライドにまとめる。  
班の答えが出たら、LMSに回答を入力する。



『TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習』  
を一部改変

## 完全オンラインTBLの流れ

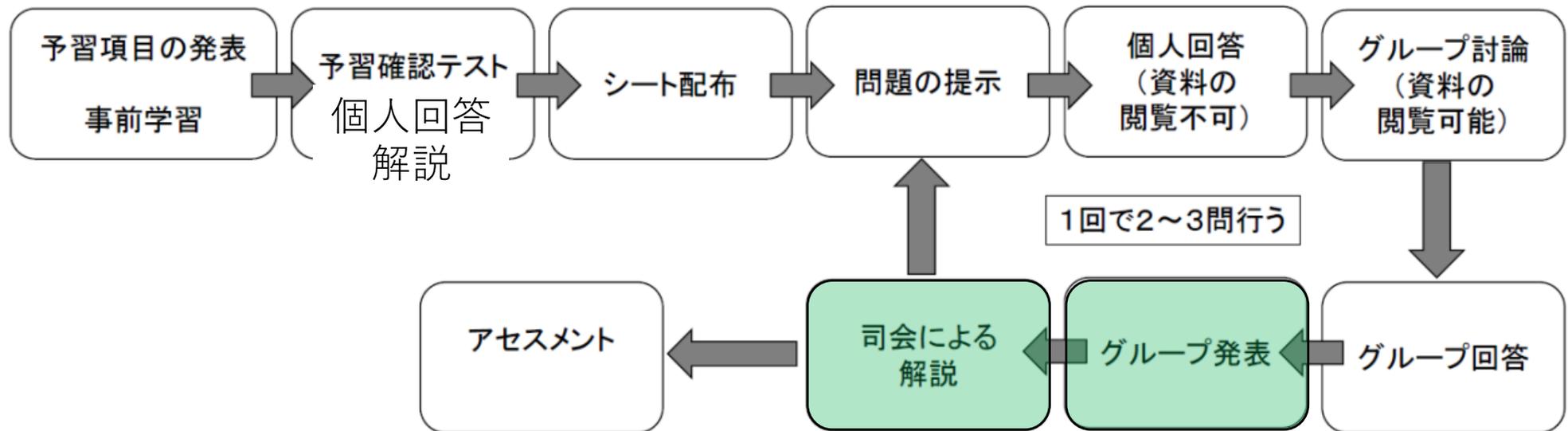


- ： **ファシリテーター**は（@ブレイクアウトルーム）  
学生の討論がスムーズに進行するよう手助けをする。  
各学生の、チーム討論への積極性と貢献度を採点する。  
（間違った発言や、質問は減点しない）



『TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習』  
を一部改変

# 完全オンラインTBLの流れ



 : 全員zoomのメインルームに戻る。

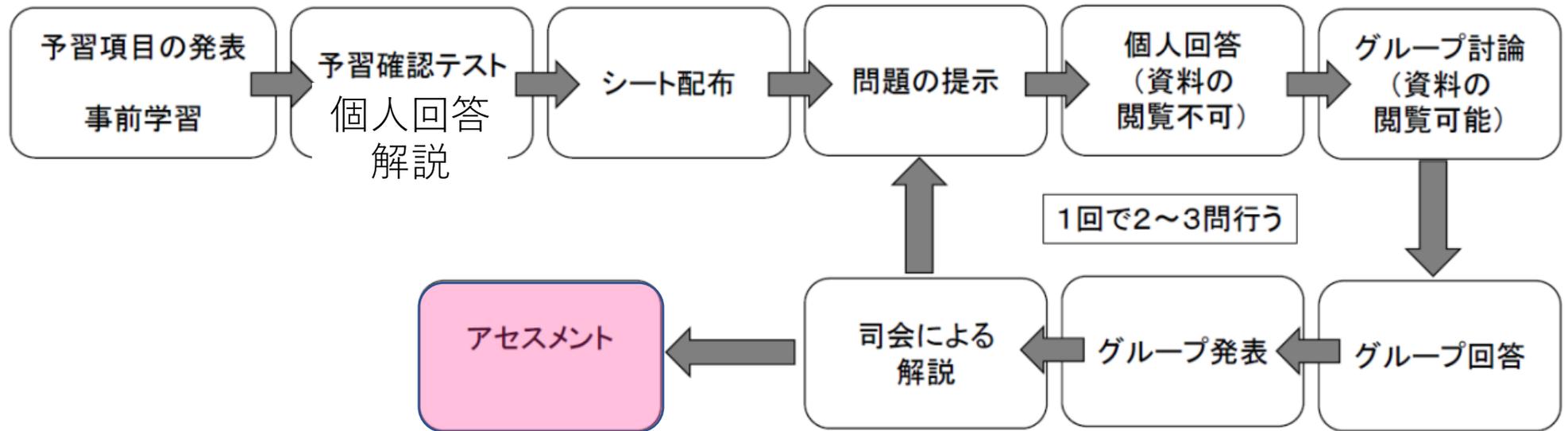
司会の教員は、  
発表班を指名。

班で作成したgoogleスライドを  
zoomで共有しながら、答えと根拠を発表してもらう。



その後、zoomの画面共有にて解説を行う。

# 完全オンラインTBLの流れ



**アセスメント** : 学生とファシリテーターは、アセスメントを述べる。

ファシリテーターは、できるだけ良かった点を述べる。



『TBL-医療人を育てるチーム基盤型学習』  
を一部改変

## 最後に

TBL後の学生アンケートより、

- ・ グループの人と話し合うことで自分が誤解していた部分が明確になった
- ・ 講義内では分かったつもりになっていたところも、グループで勉強し合うことで深く理解できた

などの声があった。



## 最後に

- ・ 対面でTBLを行えない場合も、オンラインで実施可能。
- ・ 対面とオンラインのハイブリッドも可能。  
状況に応じて使いやすいシステムを組み合わせてもよい。
  - （例1） 解答回収のみ、googleフォームなどのインターネット経由。
  - （例2） 学生は複数の部屋におり、  
解答回収と解説はオンライン。



# オンラインTBLの 進行例

時間	Zoom	問題	司会	PC操作	
			出欠確認		
14:00	全体	予習確認問題		WebClassで予習確認問題を表示する	
			予習確認問題解答(個人解答のみ) 1問1分X5問程度		
				全員の解答が出揃ったことを確認・WebClassで予習確認問題を非表示にする	
			解説		
14:15	全体	シート関連問題①	シートの提示	WebClassでシートを表示する	
			シート関連問題①個人解答 1問5分		シート関連問題①個人解答用の問題をWebClassで表示する
				全員の解答が出揃ったことを確認・WebClassでシート関連問題①個人解答用の問題を非表示にする	
	グループ毎	シート関連問題①	グループ回答であっても、全員が回答を入力するように指示	シート関連問題①グループ解答用の問題をWebClassで表示する	
			シート関連問題①グループ解答 10~20分		ブレイクアウトセッション開始
				全員の解答が出揃ったことを確認・WebClassでシート関連問題①グループ解答用の問題を非表示にする。	
			発表グループの指名	ブレイクアウトセッションの終了	
		指名されたグループの代表者が発表	解説	正答率をプロジェクター表示(任意)	
14:40	全体	シート関連問題②		(必要なら、WebClassで次のシートを表示する。)	
			シート関連問題②個人解答 1問5分		シート関連問題②個人解答用の問題をWebClassで表示する
				全員の解答が出揃ったことを確認・WebClassでシート関連問題②個人解答用の問題を非表示にする	
	グループ毎	シート関連問題②	グループ回答であっても、全員が回答を入力するように指示	シート関連問題②グループ解答用の問題をWebClassで表示する	
			シート関連問題②グループ解答 10~20分		ブレイクアウトセッション開始
				全員の解答が出揃ったことを確認・WebClassでシート関連問題②グループ解答用の問題を非表示にする。	
			発表グループの指名	ブレイクアウトセッションの終了	
		指名されたグループの代表者が発表	解説	正答率をプロジェクター表示(任意)	
15:05	全体	シート関連問題③		(必要なら、WebClassで次のシートを表示する。)	
			シート関連問題③個人解答 1問5分		シート関連問題③個人解答用の問題をWebClassで表示する
				全員の解答が出揃ったことを確認・WebClassでシート関連問題③個人解答用の問題を非表示にする	
	グループ毎	シート関連問題③	グループ回答であっても、全員が回答を入力するように指示	シート関連問題③グループ解答用の問題をWebClassで表示する	
			シート関連問題③グループ解答 10~20分		ブレイクアウトセッション開始
				全員の解答が出揃ったことを確認・WebClassでシート関連問題③グループ解答用の問題を非表示にする。	
			発表グループの指名	ブレイクアウトセッションの終了	
	全体		指名されたグループの代表者が発表		
				解説	正答率をプロジェクター表示(任意)
				次回の予習内容を説明	
15:30				ブレイクアウトセッション開始	
	グループ毎		アセスメント		
15:40			アセスメント終了後、グループ毎に解散		